

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 岡山大鵬薬品株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 705-8555 岡山県備前市久々井1775-1
----	---------------------------	----	------------------------------------------------------

本票作成	部署名：設備技術部
------	-----------

主たる業種	分類コード 16	業種名：化学工業
-------	-------------	----------

事業の概要	医薬品製剤製造業 従業員：200人
-------	-------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	1	本社工場	岡山県備前市久々井1775-1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 2 年度)	(令和 4)年度排出量	目標年度 (令和 4 年度)
	3,379 t CO ₂	3,362 t CO ₂	3,311 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4)年度排出量
	1	本社工場	3,362 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 3 年度	～	令和 4 年度	(2 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	0.5 %	2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
	名称：空調エリア補正面積	基準年度	(4)年度	目標年度
	計算式：空調エリア延べ床面積×運転時間 原単位：7.8千㎡	433.200 kg CO ₂ /(千㎡)	431.000 kg CO ₂ /(千㎡)	424.500 kg CO ₂ /(千㎡)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

削減目標の達成状況については、令和3年度3.1%、令和4年度0.5%となり年平均1.8%の達成率で目標に対して未達成となった。理由としては生産効率の低下及び建築に伴う電気の使用量が増加したためである。
削減計画については、空冷式冷水チラー更新・更衣室の人感センサー化・社員食堂厨房の都市ガス変更と予定通り実施できた。また、2022年4月からはCO₂フリー電力への切替も実施した。

【推進体制】

ISO14001環境マネジメント組織による環境担当役員をトップとして、環境管理責任者および各部門のISO推進委員（実務担当者）が削減目標に従って環境負荷の改善への取り組みを行う。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社・工場	<p>(令和4年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空冷式冷水チラー更新(原油換算で年間約100k1削減見込み) ・更衣室照明の人感センサー化(原油換算で年間約1k1削減見込み) ・社員食堂厨房のガスをLPGから都市ガスへ変更 ・2022年4月よりCO2フリー電力を導入(CO2換算で年間約1800t-co2削減) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構内照明LED化 ・曝気槽の廃止 ・コンプレッサーの吐出圧力低下による電力使用量の削減 ・駐車場への太陽光パネル設置(カーポートタイプの太陽光パネル)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	太陽光発電パネル設置(100kw 令和5年)(本社・工場増設棟)
その他	無	

【その他特記事項】

- ・ クールビズ(5月～10月)、ウォームビズの実施。
- ・ ISO14001環境マネジメントシステムの導入。(平成18年)
- ・ 安全衛生委員会でアイドリングストップなどの啓発を実施。
- ・ 2022年4月よりCO2フリー電力の導入。
- ・ 2022年1月よりカーボンニュートラル都市ガスの導入。
- ・ グリーン製品購入の推進。
- ・ Table for Two
- ・ アイシティecoプロジェクト